最上川下流左岸地区の事業の効用に関する説明資料

1. 地区の概要

(1) 地 域: 山形県鶴岡市、酒田市、東田川郡庄内町

(2) 受益面積: 5,921ha

(3) 事業目的:排水改良 5,921ha

(4) 主要工事計画:排水機場5箇所(改修)

排 水 機 場 1箇所 (新設) 排 水 路 5.6km (改修) 水 管 理 施 設 一式 (新設)

(5) 国 営 事 業 費 : 16,100百万円

(6) 工 期 : 平成29年度~平成37年度

2. 総費用総便益比の算定

(1)総費用総便益比の総括

(単位:千円)

区分	算定式	数値
総費用 (現在価値化)	1)=2+3	46, 190, 133
当該事業による整備費用	2	15, 301, 824
その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	3	30, 888, 309
評価期間(当該事業の工事期間+40年)	4	49年
総便益額 (現在価値化)	5	68, 601, 123
総費用総便益比	6=5÷1	1.48

(2)総費用の総括

(単位:千円)

区	施 設 名	事業着工	当該事業費	関連事業費	評価期間	評価期間	総費用
分	(又は工種)	時点の			における	終了時点の	
		資産価額			予防保全費	資産価額	6=1+2+
		1	2	3	• 再整備費	(5)	3+4-5
					4		
当	毒蛇排水機場	1, 045	2, 198, 785	_	855, 359	279, 465	2, 775, 724
該	大和排水機場	33, 984	2, 310, 029	_	949, 737	370, 730	2, 923, 020
事	二段割排水機場	9, 011	650, 805	_	196, 121	110, 863	745, 074
業	~~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~~	~~~~~~
	計	5, 314, 290	15, 301, 824	_	7, 854, 431	3, 053, 618	25, 416, 927
そ	新堀排水機場	_		50, 848	281, 671	11, 481	321, 038
\mathcal{O}	堀野排水機場			336, 359	198, 685	63, 375	471, 669
411				0 = = 01	100 110	0 000	000 070
10-	家根合排水機場	_		35, 521	196, 140	8, 289	223, 372
III.	家根合排水機場 ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~			35, 521	196, 140	8, 289	223, 372
	家根合排水機場 ~~~~~~ 計	11, 269, 924		35, 521 1, 823, 621	196, 140 9, 820, 308	***************************************	223, 372

[※]主な施設を事例として示す。その他の施設も含めた詳細については「最上川下流左岸地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3)年総効果額の総括

(単位:千円)

Nec.		
区 分 効果項目	年総効果 (便益)額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果		
作物生産効果	660, 910	排水施設の整備を実施した場合と実施しな かった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	1, 066, 778	排水施設の整備を実施した場合と実施しな かった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△39, 615	排水施設の整備を実施した場合と実施しな かった場合での施設の維持管理費が増減す る効果
農業の持続的発展に関する効果		
災害防止効果 (農業関係資産)	508, 518	排水施設の整備を実施した場合と実施しな かった場合での災害による農業関係資産に 係る被害額が軽減する効果
農村の振興に関する効果		
災害防止効果 (一般資産)	969, 034	排水施設の整備を実施した場合と実施しな かった場合での災害による一般資産に係る 被害額が軽減する効果
その他の効果		
国産農産物安定供給効果	68, 686	排水施設の整備により農業生産性の向上や 営農条件等の改善が図られ、国産農産物の 安定供給に寄与する効果
合 計	3, 234, 311	

(4) 総便益額算出表

•											
年	割引率	経			作物	生産効果			§	割引後	
度	(1+割引率) t	過	更新分	新設及	び機能向]上分に		計	₹	効果額合計	
		年	に係る	1	系る効果	Ļ			§		備考
		(t)	効果						*		
			年効果	年効果	効果発	年発生	年効果	同左割	§		
					生割合	効果額			∛		
				-					§	(千円)	
	(Ī)								§	, , , , ,	
H28	1.0000	0							*		評価年
H29	1.0400	1	607, 700	53, 210	0	0	607, 700	584, 327	*	3, 034, 900	
H30	1.0816	2	607, 700	53, 210	0.1	53	607, 753	561, 902	*	2, 918, 224	
H31	1. 1249	3	607, 700	53, 210	2. 1	1, 117	608, 817	541, 219	*	2, 806, 858	
H32	1. 1699	4	607, 700	53, 210	6.0	3, 193	610, 893	522, 175	\$	2, 700, 753	
H33	1. 2167	5	607, 700	53, 210	15. 3	8, 141	615, 841	506, 157	₹	2, 601, 416	
H34	1. 2653	6	607, 700	53, 210	30.9	16, 442	624, 142	493, 276	*	2, 512, 520	
H35	1. 3159	7	607, 700	53, 210	51.3	27, 297	634, 997	482, 557	\$	2, 429, 929	
H36	1. 3686	8	607, 700	53, 210	71.2	37, 886	645, 586	471, 713	%	2, 352, 167	
H37	1. 4233	9	607, 700	53, 210	89.8	47, 783	655, 483	460, 537	*	2, 272, 548	
H38	1. 4802	10	607, 700	53, 210	96. 4	51, 294	658, 994	445, 206	§	2, 183, 261	
~~~	······	~~	~~~~~	·····	~~~~	~~~~	~~~~~	~~~~~~	S.	······································	~~~~
H77	6. 8333	49	607, 700	53, 210	100	53, 210	660, 910	96, 719	<b>*</b>	473, 318	
計 (	総便益額	)						13, 811, 368	<b>\$</b>	68, 601, 123	
	度       H28       H29       H30       H31       H32       H33       H34       H35       H36       H37       H38       H77	度 (1+割率) ¹ (1+割率) ² (1+割率) ³ (1+割率) ⁴ (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+314) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+324)  (1+324) (1+	度 (1+割率) は 過年 (t)	度 (1+割 率) は 更新分に係る 効果 年効果 額 (千円) ② (千円) ② (千円) ② (千円) ③ (千円) ③ (千円) ③ (千円) ③ (千円) ③ (千円) ③ (千円) ⑥	度 (1・割率) は 更新分 新設及でに係る 効果 年効果 額 (千円) (千円) の ③ 3 (千円) の 53, 210 (千円) 1, 1249 3 (607, 700 53, 210 H31 1, 1249 3 (607, 700 53, 210 H32 1, 1699 4 (607, 700 53, 210 H34 1, 2653 6 (607, 700 53, 210 H35 1, 3159 7 (607, 700 53, 210 H36 1, 3686 8 (607, 700 53, 210 H37 1, 4233 9 (607, 700 53, 210 H38 1, 4802 10 (607, 700 53, 210 H38 1,	度 (1+割率) [†] 過 更新分	度       (1-翻率) は       過程       更新分 に係る 分果       新設及び機能向上分に係る分果         が果       年効果 年効果 類 (千円) (%) (千円) (%) (千円)       毎年 数果 (千円) (%) (千円)       毎年 数果 (千円) (%) (千円)         H28       1.0000 0       1.0400 1 607,700 53,210 0 0 0       0         H29       1.0400 1 607,700 53,210 0 1 53       0.1 53         H31       1.1249 3 607,700 53,210 0.1 53       3.117         H32       1.1699 4 607,700 53,210 6.0 3,193         H33       1.2167 5 607,700 53,210 51.3 8,141         H34       1.2653 6 607,700 53,210 51.3 27,297         H36       1.3686 8 607,700 53,210 71.2 37,886         H37       1.4233 9 607,700 53,210 89.8 47,783         H38       1.4802 10 607,700 53,210 96.4 51,294         H77       6.8333 49 607,700 53,210 100 53,210	度       (1+割 率) * 過年       更新分 に係る 物果       新設及び機能向上分に 係る効果         年効果 年効果 額 生割合 効果額 (千円) (千円) ② ③ ④ ⑤=③×④ ⑥=②+⑤         H28 1.0000 0 H29 1.0400 1 607,700 53,210 0 0 0 607,700         H30 1.1249 3 607,700 53,210 0.1 53 607,753         H31 1.1249 3 607,700 53,210 0.1 53 607,753         H32 1.3686 6 607,700 53,210 1.3686 8 607,700 53,210 1.3686 8 607,700 53,210 30.9 16,442 624,142         H33 1.3159 7 607,700 53,210 51.3 27,297 634,997         H36 1.3686 8 607,700 53,210 71.2 37,886 645,586         H37 1.4233 9 607,700 53,210 89.8 47,783 655,483         H38 1.4802 10 607,700 53,210 96.4 51,294 658,994         H77 6.8333 49 607,700 53,210 100 53,210 660,910	度       (1・割割) は 年 に係る 作 に係る (株 る 効果 を の 力) を に係る (大 の 力) を の 力) を に係る (大 の 力) を の 力 を の 力) を の の の の の の の の の の の の の の の の の の	度 (1+割割)	度 (1・割率) 過

[※]経過年は評価年からの年数。

# 3. 効果額の算定方法

### (1)作物生産効果

#### ○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

#### ○対象作物

水稲、飼料用米、加工用米、大豆、そば、かぶ、ねぎ、えだまめ、トルコギキョウ

#### ○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額*1 + 作付増減年効果額*2

- ※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収-事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率
- ※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積-事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

[※]作物生産効果額を事例として示す。その他の効果も含めた詳細については「最上川下流左岸地区の事業の効用に関する詳細」を参照

# ○年効果額の算定

-	1 //-	J未領り		E			H 117		<b>生</b> 玄	4. 文: 州。	т <del>д</del> +п	(v.t.	
作	-n	1	乍付面積			-H- 386 7 3	単収	u m Mr J.	生産	生産物	増加	純	
	新設			効果発生	効果要因	事業なか	事業あり	効果算定				益	年効果額
物	•	現況	計画	面積		りせば単	せば単収	対象単収	増減量	単価	粗収益	率	
	更新			1		収		2	3=1)×2	4	5=3×4	6	7=5×6
名									÷100				
水	新	ha	ha	ha	単収増	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	手円/t	千円	%	千円
稲	設	4,029	3, 849	3, 849	(水害防止)	598	598. 3	0.3	11. 5				
					小 計				11.5	222	2, 553	77	1, 966
				△180	作付減			598	△1, 076. 4				
					小 計	_	_	-	△1, 076. 4	222	△238, 961	-	_
	更				単収増								
	新	4,076	4,076	4,076	(水害防止)	578. 6	598	19.4	790. 7				
				4,076	(水管理改良)	586	598	12	489. 1				
				3, 856	(乾田化 I)	564	598	34	1, 311. 0				
				25	(乾田化Ⅱ)	<u> 581</u>	598	17	4. 3				
					小 計				2, 595. 1	222	576, 112	_77	443, 606
<b>&amp;</b> ⊐1	44				水稲計	_	_		1, 530. 2	_	339, 704	_	445, 572
飼业	新	1.00	0.40	1.00	単収増	500		0.4	0.0				
料用米	設	162	242	162	(水害防止)	<u>598</u> _	598.4	0.4	0.6		10		
川				80	小計				0.6	30	18		
$\wedge$				80	作付増 小 計	<u>-</u>	<u>-</u>	598. 4	478. 7 478. 7	30	14, 361		
	更				単収増				470.7	30	14, 501		
	新	164	164	164	(水害防止)	578. 5	598	19. 5	32. 0				
	7171	101	101	164	(水管理改良)	586	598	12	19. 7				
				155	(乾田化 I )	564	598	34	52. 7				
				1	(乾田化Ⅱ)	581	598	17	0. 2				
					小 計				104. 6	30	3, 138		
					飼料用米計			-	583. 9		17, 517		_
加	新				単収増								
工	設	390	464	390	(水害防止)	598	598. 3	0.3	1.2				
用					小 計			_	1. 2	161	193	68	131
米				74	作付増_			598. 3	442.7				
					小 計	_	_	_	442. 7	161	71, 275	_	_
	更				単収増								
	新	395	395	395		578. 5		19.5	77. 0				
				395	(水管理改良)	586	598	12	47. 4				
				374	(乾田化I)	564	598	34	127. 2				
				2	(乾田化Ⅱ) 小 計	581	598	17	0. 3 251. 9	161	40, 556	68	97 579
					<u></u>				695. 8	161	112, 024	_00	27, 578 27, 709
~~	~~~	····	~~~~	~~~~	<b>ルエ</b> カ 不 計	~~~~	~~~~	~~~	090. o	~~~~	112,024	~~~	21, 109
新	設	5, 630	5, 698								394, 592		53, 210
更	新	5, 695	5, 695								796, 998		607, 700
_	計	0, 000	0, 000								1, 191, 590		1
合	μΙ		<u> </u>			<u> </u>	<u>/</u>		=>/ /m ) == >		1, 191, 590	$\angle$	660, 910

※主な作物を事例として示す。その他の作物も含めた詳細については「最上川下流左岸地区の事業の効用に関する詳細」を参照

事業を実施した場合、農用地や水利条件の改良等が図られることから、減産防止(水害防 止)、作付増減及び既存の施設が更新されることに伴う生産維持に係る作物生産量の増減効 果を見込むものとした。

#### 【新設】

・作付面積 :「現況作付面積」は、関係市町の作付実績に基づき決定した。

「計画作付面積」は、県、関係市町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ

決定した。

・単収:「事業なかりせば単収」は現況単収であり、農林水産統計等による最近5か

年の平均単収により算定した。

「事業ありせば単収」は計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を

考慮して算定した。

#### 【更新】

・作付面積 :現況施設の下で作物生産量が維持される面積であり、「現況作付面積」は関

係市町の作付実績に基づき決定し、「計画作付面積」は現況=計画とした。

・単収:「事業なかりせば単収」は排水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果

要因別の失われる増収率分を減じて算定した。効果要因のうち水害防止は、

現況単収から被害防止量を減じて算定した。

「事業ありせば単収」は現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年

の平均単収により算定した。

「効果算定対象単収」は事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。

#### 【共通】

・生産物単価:農林水産統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価

格を用いた。

・純益率 :「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等

を用いた。

・小数点以下を四捨五入していることから、増加粗収益等の記載値は計算結果と合わない場合がある。

# (2) 営農経費節減効果

#### ○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

#### ○対象作物

水稲(飼料用米、加工用米を含む)、大豆、そば、かぶ、ねぎ、えだまめ、トルコギキョウ

#### ○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当り営農経費 - 事業ありせば単位面積当り営農経費) × 効果発生面積

#### ○年効果額の算定

算定例:水稲(排水改良:水管理作業に要する経費、機械利用効率の向上による経費の増減)

大豆(排水改良:機械利用効率の向上による経費の増減)

		ha当たり	営農経費		ha当たり	効果発生	年効果額
	新	設	更	新	経費節減額	面積	
作物名	現況	計画	事業なかりせば	事業ありせば	(1)-(2)	6	$7 = 5 \times 6$
	(事業なかりせば)	(事業ありせば)	営農経費	営農 経費	+		
	1	2	3	4	(3-4)		
水稲	円	円	円	円	円	ha	千円
(排水改良)	_	_	512, 048	529, 225	$\triangle 17, 177$	4,635	$\triangle$ 79, 615
(水管理作業)							
水稲	_	_	750, 980	529, 225	221, 755	4, 385	972, 396
(排水改良)							
(乾田→湿田)							
水稲	_	_	615, 337	529, 225	86, 112	28	2, 411
(排水改良)							
(乾田→半湿田)							
大豆			788, 990	610, 714	178, 276	710	126, 576
(排水改良)							
(乾田→湿田)							
大豆	_	_	697, 292	610, 714	86, 578	5	433
(排水改良)							
(乾田→半湿田)							
***************************************	~~~~~	······································	······································	······································	~~~~~~	······································	*******
新 設							_
更 新							1, 066, 778
合計		7 0 44	0/5141				1,066,778

※主な作物を事例として示す。その他の作物も含めた詳細については「最上川下流左岸地区の事業の効用に関する詳細」を参照

#### 【更新】

・事業なかりせば営農経費(③):事業ありせば営農経費を基に、事業なかりせば想定され

る水管理作業に係る経費及び土壌条件の変化に伴う機械

作業に係る経費を考慮し算定した。

・事業ありせば営農経費 (④):山形県の農業経営指標等に基づき算定した。

# (3)維持管理費節減効果

#### ○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

#### ○対象施設

排水機場、排水路、水管理施設

#### ○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば維持管理費 - 事業ありせば維持管理費

#### ○年効果額の算定

区 分	事業なかりせば維持管理費	事業ありせば維持管理費	年効果額 ③=①-②
	T. II.		
	千円	千円	千円
新設整備	65, 292	78, 082	$\triangle 12,790$
更新整備	38, 467	65, 292	△26, 825
合 計			△39, 615

#### 【新設】

- ・事業なかりせば維持管理費(①):現況施設の維持管理費に基づき算定した。
- ・事業ありせば維持管理費 (②):現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見

込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

#### 【更新】

・事業なかりせば維持管理費(①):現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場

合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費

を算定した。

・事業ありせば維持管理費 (②):現況施設の維持管理費に基づき算定した。

※本事業の実施により増加が見込まれる維持管理費は、新設整備区分の年効果額 $\triangle$ 12,790千円。 《算定式》 新設整備区分「①-②」= 65,292千円-78,082千円 = $\triangle$ 12,790千円(増加額)

# (4) 災害防止効果

#### ○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、災害(洪水等)の発生に伴う農作物等の被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

#### ○対象資産

農作物、農地、農業用施設、農漁家、一般資産

#### ○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば年被害(想定)額 - 事業ありせば年被害(想定)額

#### ○年効果額の算定

_		事業なかりせ	現況	事業ありせば	年効果額	年効果額	年効果額
×	付象資産項目	ば年被害額	年被害額	年被害額	(更新分)	(新設・	合計
		1	2	3	4=0-2	機能向上分)	6 = 4 + 5
						5=2-3	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
農	業関係資産	561, 748	85, 432	53, 230	476, 316	32, 202	508, 518
	農作物被害	73, 357	11, 764	6, 804	61, 593	4, 960	66, 553
	農 地 被 害	119, 468	26, 202	15, 287	93, 266	10, 915	104, 181
	農業用施設被害	314, 017	46, 859	30, 799	267, 158	16, 060	283, 218
	農漁家被害	54, 906	607	340	54, 299	267	54, 566
_	般 資 産	970, 977	5, 704	1, 943	965, 273	3, 761	969, 034
	一般資産被害	970, 977	5, 704	1, 943	965, 273	3, 761	969, 034
	新 設					35, 963	35, 963
	更 新				1, 441, 589		1, 441, 589
	合 計						1, 477, 552

・事業なかりせば年被害額(①):事業を実施した場合に被害の防止又は軽減が図られる区域における資産を対象に湛水シミュレーションにより事業なかりせば想定される年被害額を推定した。

• 現況年被害額

(②):事業を実施した場合に被害の防止又は軽減が図られる区域における資産を対象に湛水シミュレーションにより現況で想定される年被害額を推定した。

・事業ありせば年被害額

(③):事業を実施した場合に被害の防止又は軽減が図られる区域における資産を対象に湛水シミュレーションにより事業ありせば想定される年被害額を推定した。

# (5) その他の効果(国産農産物安定供給効果)

#### ○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWT P (Willingness To Pay: 支払意思額)を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であ るCVM (Contingent Valuation Method:仮想市場法)により年効果額を算定した。

#### ○対象作物

水稲、飼料用米、加工用米、大豆、そば、かぶ、ねぎ、えだまめ

○年効果額算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額	単位食料生産額当たり効果額 (効果額/食料生産額)	当該土地改良事業に おける効果額
	1	2	$3=1\times2$
	千円	円/千円	千円
新設整備	16, 827	97	1, 632
更新整備	691, 281	97	67, 054
合 計			68, 686

增加粗収益額

(①):作物生産効果の算定過程で整理した作物生産量を基に、 事業ありせば増加粗収益額及び事業なかりせば増加粗収 益額を整理した。

単位食料生産額当たり効果額(②):年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額は 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを 尋ねるCVMにより、97円/千円(原単位)とした。

### 4. 評価に使用した資料

#### 【共通】

- ・農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課(監修)(2007)「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社(平成20年3月31日一部改正、平成21年3月31日一部改正、平成26年3月27日一部改正)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について(平成19年3月28日付け農林水産省農村振興局企画部長通知(平成28年3月25日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について(平成28年3月25日付け農林水産省 農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐(事業効果班)事務連絡)

#### 【費用】

・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、東北農政局西奥羽 十地改良調査管理事務所調べ

#### 【便益】

- ・東北農政局山形農政事務所(平成19~23年)「第55~58次山形農林水産統計年報」
- ・社団法人日本農業機械化協会(平成26年10月)「2014/2015農業機械・施設便覧」
- ・国土交通省河川局(平成17年4月)「治水経済調査マニュアル(案)」
- ・国土交通省水管理・国土保全局河川課(平成28年3月)「治水経済調査マニュアル(案)各種 資産評価単価及びデフレーター」
- ·農林水産省大臣官房統計部「平成22~26年農業物価統計」農林水産省
- ・効果算定に必要な各種諸元については、東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所調べ

# 平成29年度新規地区採択チェックリスト 国営かんがい排水事業

(局名:東北農政局)(地区名:最上川下流左岸)

#### 特定監視項目

#### 1. 地質状況

・地質状況に基づいた施設計画としている。

本事業における主な整備内容と地質状況への対応は以下のとおり。

#### ○排水機場

排水機場(6施設:毒蛇、大和、二段割、中央、西野、生田)の基礎形式の設計 に当たり、各機場の計画位置付近においてボーリング調査(2~3孔/施設)を行 い地質を確認しており、基礎工の設計にあたっては、設計基準「ポンプ場」に基づ き、杭基礎による施設計画とした。

#### ○排水路

排水路においては、既存施設の改修工事(欠損した積みブロックの補修)を行う ものであり、地質条件に制約を受ける要因は無いと判断している。

#### 2. 受益面積

・最近年の面積を把握している。

本事業の受益面積は、本事業により排水再編を行う各施設の受益範囲を基に、最上 川土地改良区が保有する土地原簿から一定地域を確認し、土地登記簿により平成27年4 月1日時点で積み上げている。

最上川下流左岸地区の事業の効用に関する詳細 2(2) 総費用の総括-1

		•	-	-		.)	単位:千円	$\widehat{}$
区分	施設名(又は工種)	事業着工時点 の資産価額	出該事業費	関連事業費	評価期間に おける 予防保全費 ・再整備費	評価期間終了 時点の資産価額	総 (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	(N)
		$\in$	8	<u>(c)</u>	4	(S)	)	
	毒蛇排水機場	1,045			855, 359	279, 465	2, 775.	724
	大和排水機場	33, 984	310,	Ι	949, 737	370, 730	2, 923,	)20
	二段割排水機場	9,011	650, 805	Ι	196, 121	110, 863	745,	074
	中央排水機場			Ι	822, 565	346, 532	3,057,	700
	西野排水機場	173, 514	1, 740, 039	Ι	625, 183	272, 621	2, 266,	115
	生田排水機場	1	1, 241, 796	Ι	461, 524	229, 425	1, 473,	895
П #	毒蛇排水路	296, 162	1, 036, 092	Ι	366, 300	248, 196	1, 450,	358
	大和排水路		1,054,970	Ι	494, 237	258, 493	1, 732,	084
	中央排水路	149, 648	1, 116, 310	I		224, 997	1, 342,	673
	西野排水路		512, 147	I	335, 343	142, 941	1,077,	)20
	京島排水路		380, 290	Ι	79, 038	81,007	412,	717
	北楯大堰用水路		72, 466	Ι	863, 890	144, 485	2, 156,	677
	吉田幹線用水路	2, 409, 966	106, 816	Ι	972, 328	276, 761	3, 212,	349
	水管理施設	ı	327, 322	Ι	531, 094	67, 102		314
	計	5, 314, 290	15, 301, 824	_	7, 854, 431	3, 053, 618	25, 416,	927
	新堀排水機場	1	Ι	50, 848	281, 671	11, 481	321,	038
	堀野排水機場	Ι	Ι	336, 359	198, 685	63, 375	471,	
	家根合排水機場	Ι	Ι	35, 521	196, 140	8, 289	223,	372
	西袋排水機場	I	Ī	23, 538	129, 271	5, 794	147,	)15
	二段割承水路	Ι	Ι	170, 368	28, 076	32, 759	165,	685
	西野承水路	I	Ι	- 2	124, 770	133, 360	684,	378
	生田承水路		Ι	513, 419	92, 033	98, 721	506,	731
	提興屋排水路		Ι	Ι	691, 668	74, 887	714,	185
	堀野排水路		Ι	Ι	411, 353	77, 670	498,	551
3 ₹	二段割排水路	33, 982	Ι	Ι	1, 362, 806	240,097	1, 156,	391
	宮曽根排水路		T	Ι	429, 080	73, 545	423,	303
	家根合排水路	} -	Ι	Ι		226	114,	217
	生田排水路	128, 912	Ι	Ι	513, 731	63, 264	579,	
	西小野方排水路		Ι	Ι	I			910
	大野排水路	26, 922	Ι	Ι	268, 165	49, 010	246,	7/0
	西袋排水路		Ι	Ι		174	29,	)22
	境興屋排水路	30, 049	Ι	Ι	91, 645	16,818	104,	376
	吉方排水路	12, 711	I	I	182, 077	33, 322	161, 4	991

最上川下流左岸地区の事業の効用に関する詳細 2(2) 総費用の総括-2

				三世二二三		総費,
施設名(又は工種)	事業着工時点 の資産価額	当該事業費	関連事業費	ロボカリア   カンドカン   カンドカン   カンドカン   中整備費	評価期間終了 時点の資産価額	(a) + (b) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d
		2	3	4	<b>(2)</b>	)
十六合排水路		Ι	Ι	Ι	456	126,
<b>椛カ沢排水路</b>		Ι	Ι	426, 903		ļ
山出川排水路	44, 076	Ι	Ι	602, 942	110, 645	
三ヶ沢排水路		Ι	Ι	188, 626	34, 614	
<b>忝津排水路</b>		Ι	Ι	44, 105	2, 492	75,
山崎排水路		Ι	Ī	58, 389	4, 405	
最上川幹線用水路	٤ -	Ι	Ι	32, 730	25, 739	172,
北楯幹線用水路	16, 220	Ι	Ι	529, 331	93, 717	451,
尺新田堰水路	-	Ι	Ι	246, 243	43, 325	
<b>新沢新田堰水路</b>	12, 121	Ι	Ι	323, 315	56, 184	
余目堰水路		Ι	Ι	334, 702	125, 635	1, 320,
四ヵ村堰水路(十一ヵ村堰)	19, 226	Ι	Ι	81, 621	14, 184	86,
三ヵ村堰水路	42, 049	Ι	Ι	178, 359	30, 995	189,
家根合堰水路	7, 549	Ι	Ι	207, 774	36, 966	178,
<b>圷堰水路</b>	209	1	Ι	66, 527	11, 274	55,
茗荷瀬水路	12, 444	l	Ι	47, 082	8, 182	
ロヵ村堰水路 (町堰)		Ι	Ι	12, 232		16,
<b>宫曽根堰水路</b>		Ι	Ι	21, 455	153	29,
<b>昕余</b> 目堰水路	496, 256	Ι	Ι	232, 323		710,
<b>西野堰水路</b>	220	Ι	Ι	60, 485	10, 511	50,
門田堰水路	755	Ι	Ι	81, 376		67, 988
所堀堰水路	5, 546	Ι	Ι	606, 044		506,
長沼堰水路	466, 457	Ι	Ι	140, 497	52, 738	554,
八ヵ村堰水路	738	Ι	Ι	80, 429	13, 977	
上堰水路	149, 204	Ι	Ι	44, 940	16, 870	
桑田堰水路	290	Ι	Ι	63, 841	11, 095	53,
<b>京島堰水路</b>		Ι	Ι	106, 866	18, 571	89,
県宗 最上川地区		Ι	Ι	Ι	203, 229	5, 437,
県ぼ 十六合地区	33,	Ι	Ι	Ι	11, 385	1, 422,
県ぽ 家根合地区	657, 903	Ι	1		4	653,
二二	11, 269, 924	_	1, 823, 621	9, 820, 308	2, 140, 647	20, 773,

同 在 割引後 (千円) (7=6/① 盂 6 = 2 + 5年効果額 (± ± 年第年 珍果額 (千円) (5=3×4) 株井管理集節減効果 下係る効果
 が果発 年発生 生調合 効果器
 (%)
 (※)
 (※)
 (※)
 (※) 年効果額  $\overset{()}{\mathbb{H}} \otimes$ 更新分に 係る効果 年効果額  $\widehat{\mathbb{H}}^{\otimes}$ 同 左 割引後 (千円) (7=6/① 盂 (∓H) 6=2+5 年効果額 年発生 3 効果額 (千円) (5=3×4) (6 年効果額 ⊕ ⊕⊕ 更新分に 係る効果 年効果額  $\widehat{\mathbb{H}}^{\otimes}$ 同 左割引後 割引後 (千円) 7=6/(1 抽 (∓H) (€=2+5) 年効果額 年発生 | 公果額 (十円) (5=3×4) 年効果額 (+ ⊕⊕ 更新分に 係る効果 年効果額 ⊕ ⊕ からの年数 経過年 十 格 第 3 日 本 第 3 日 本 第 3 日 本 第 日 本 第 日 本 第 日 本 第 日 本 第 日 本 第 日 本 第 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 第 1 日 本 年度 評価期間

同 左 割引後 (千円) (千円) 盂 6=2+5 年効果額 (H H) 更新分に 係る効果 年効果額  $\widehat{\mathbb{H}}^{\otimes}$ 同 在 割引後 (千円) (7=6/① 古 (∓H) 6=2+5 年効果額 年発生 3 効果額 (千円) (5=3×4) (6 年効果額  $\widehat{\mathbb{H}}_{\Theta}$ 更新分に 係る効果 年効果額 ::  $\widehat{\mathbb{H}}^{\otimes}$ 同 左 割引後 (千円) (7=6/(1) 抽 (∓H) (€=2+5) 年効果額 年効果額 (+ ⊕⊕ 更新分に 係る効果 年効果額 ⊕ ⊕ 48 H76 6 5705 48 476 3 49 H77 6 8333 49 476 3 合計 (総便益額) ※経過年は評価年からの年数 経過年 年度 評価期間

			作付面積				単 収		生産				
作物名	新設	現況	計画	効果 発生 面積	効果要因	事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収	増減量	生産物	増加粗	純益率⑥	年効果額
	更新			1				2	③= ①×② ÷100	単価 ④	収益 ⑤= ③×④		⑦= ⑤×⑥
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/ t	千円	%	千円
	新設	4, 029	3, 849	3, 849	単収増 (水害防止)	598	598. 3	0. 3	11. 5				
					小 計	_	_	_	11. 5	222	2, 553	77	1, 966
				△ 180	作付減			598	△ 1,076.4				
					小 計	_	_	_	△ 1,076.4	222	Δ 238, 961	_	_
	更新	4, 076	4, 076	4, 076	単収増 (水害防止)	578. 6	598	19. 4	790. 7				
水稲				4, 076	単収増 (水管理改良)	586	598	12	489. 1				
				3, 856	単収増 (乾田化 I )	564	598	34	1, 311. 0				
				25	単収増 (乾田化Ⅱ)	581	598	17	4. 3				
					小 計	_	_	_	2, 595. 1	222	576, 112	77	443, 606
					水稲計			_	1, 530. 2	_	339, 704	_	445, 572
	新設	162	242	162	単収増 (水害防止)	598	598. 4	0. 4	0. 6				
					小 計	_	_	_	0. 6	30	18	_	
				80	作付増			598. 4	478. 7				
					小 計	_	_	_	478. 7	30	14, 361	_	
	更新	164	164	164	単収増 (水害防止)	578. 5	598	19. 5	32. 0				
飼料用米				164	単収増 (水管理改良)	586	598	12	19. 7				
				155	単収増 (乾田化 I )	564	598	34	52. 7				
				1	単収増 (乾田化Ⅱ)	581	598	17	0. 2				
					小 計	_		_	104. 6	30	3, 138	_	_
					飼料用米計	_	_	_	583. 9	_	17, 517	_	_

		作付面積				単収			生産 増減量					
作物名	新設	現況	計画	効果 発生 面積	効果要因	事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収		生産物	增加粗	純益率⑥	年効果額	
	更新			1				2	③= ①×② ÷100	単価 ④	収益 ⑤= ③×④	筝	⑦= ⑤×⑥	
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/ t	千円	%	千円	
	新設	390	464	390	単収増 (水害防止)	598	598. 3	0. 3	1. 2					
					小 計	_	_	l	1. 2	161	193	68	131	
				74	作付増			598. 3	442. 7					
					小 計	_	1	-	442. 7	161	71, 275	_	_	
	更新	395	395	395	単収増 (水害防止)	578. 5	598	19. 5	77. 0					
加工用米				395	単収増 (水管理改良)	586	598	12	47. 4					
					374	単収増 (乾田化 I )	564	598	34	127. 2				
				2	単収増 (乾田化Ⅱ)	581	598	17	0. 3					
					小 計	_	_	_	251. 9	161	40, 556	68	27, 578	
					加工用米計	_	1	-	695. 8	_	112, 024	_	27, 709	
	新設	743	743	743	単収増 (水害防止)	142	142. 2	0. 2	1.5					
					小 計	_	_	l	1. 5	156	234	63	147	
大豆	更新	752	752	752	単収増 (水害防止)	135. 7	142	6. 3	47. 4					
				752	単収増 (田畑輪換)	123	142	19	142. 9					
					小 計	_	_	_	190. 3	156	29, 687	63	18, 703	
					大豆計	_		-	191. 8	_	29, 921	_	18, 850	

		,	作付面積			単  収			生産 増減量										
作物名	新設	現況	計画	効果 発生 面積	効果要因	事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収		生産物	増加粗	純益率⑥	年効果額						
	更新			1				2	③= ①×② ÷100	単価 ④	収益 ⑤= ③×④	率	⑦= ⑤×⑥						
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/ t	千円	%	千円						
	新設	183	194	183	単収増 (水害防止)	35	35. 2	0. 2	0. 4										
					小 計	_	_	_	0. 4	247	99	42	42						
				11	作付増			35. 2	3. 9										
					小 計	_	_	_	3. 9	247	963	_	_						
そば	更新	185	185	185	単収増 (水害防止)	31. 2	35	3. 8	7. 0										
				185	単収増 (田畑輪換)	30	35	5	9. 3										
					小 計	_	_	_	16. 3	247	4, 026	42	1, 691						
					そば計	_	-	_	20. 6		5, 088	_	1, 733						
	新設	34	34	34	34	34	34	34	57	34	単収増 (水害防止)	1, 550	1, 550. 9	0. 9	0. 3				
					小 計	_	_	_	0. 3	85	26	82	21						
				23	作付増			1, 550. 9	356. 7										
					小 計	_	_	_	356. 7	85	30, 320	15	4, 548						
かぶ	更新	34	34	34	単収増 (水害防止)	1, 529. 1	1, 550	20. 9	7. 1										
				34	単収増 (田畑輪換)	1, 348	1, 550	202	68. 7										
					小 計	_	_	_	75. 8	85	6, 443	82	5, 283						
					かぶ計	_	-	_	432. 8	_	36, 789	_	9, 852						

		作付面積				単収			生産				
作物名	新設	現況	計画	効果 発生 面積	効果要因	事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収	増減量	生産物	増加粗	純益率⑥	年効果額
	更新			1				2	③= ①×② ÷100	単価 ④	収益 ⑤= ③×④	率	⑦= ⑤×⑥
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/ t	千円	%	千円
	新設	24	41	24	単収増 (水害防止)	1, 757	1, 759. 9	2. 9	0. 7				
					小 計	_	_	_	0. 7	232	162	80	130
				17	作付増			1, 759. 9	299. 2				
					小 計	_	_	_	299. 2	232	69, 414	2	1, 388
ねぎ	更新	24	24	24	単収増 (水害防止)	1, 697. 8	1, 757	59. 2	14. 2				
				24	単収増 (田畑輪換)	1, 528	1, 757	229	55. 0				
					小 計	_	-	_	69. 2	232	16, 054	80	12, 843
					ねぎ計	_	_	_	369. 1	_	85, 630	_	14, 361
	新設	36	61	36	単収増 (水害防止)	439	439. 6	0. 6	0. 2				
					小 計	_	_		0. 2	601	120	81	97
				25	作付増			439. 6	109. 9				
					小 計	_	_		109. 9	601	66, 050	9	5, 945
えだまめ	更新	36	36	36	単収増 (水害防止)	425. 4	439	13. 6	4. 9				
				36	単収増 (田畑輪換)	382	439	57	20. 5				
					小 計	_	1	_	25. 4	601	15, 265	81	12, 365
					えだまめ計	_		_	135. 5	_	81, 435		18, 407

			作付面積			単収			生産				
作物名	新設	現況	計画	効果 発生 面積	効果要因	事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収	増減量	生産物	増加粗	純益	年効果額
	更新			1				2	③= ①×② ÷100	単価 ④	収益 ⑤= ③×④	純益率⑥	⑦= ⑤×⑥
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/ t	千円	%	千円
	新設	29	47	29	単収増 (水害防止)	18, 623	18, 667	44	12. 8				
					小 計	1	_	-	12. 8	112	1, 434	81	1, 162
				18	作付増			18, 667	3, 360. 1				
					小 計	_	_	_	3, 360. 1	112	376, 331	10	37, 633
トルコギキョウ	更新	29	29	29	単収増 (水害防止)	17, 797	18, 623	826	239. 5				
				29	単収増 (田畑輪換)	16, 194	18, 623	2, 429	704. 4				
					小 計	1	_	1	943. 9	112	105, 717	81	85, 631
					トルコギキョウ計	1	1	-	4, 316. 8	_	483, 482	_	124, 426
水田計	新設	5, 630	5, 698								394, 592		53, 210
水田司	更新	5, 695	5, 695								796, 998		607, 700
新設		5, 630	5, 698								394, 592		53, 210
更新		5, 695	5, 695								796, 998		607, 700
合計											1, 191, 590		660, 910

# 最上川下流左岸地区の事業の効用に関する詳細 3(2) 営農経費節減効果

		ha当たり	ha当たり	効果発生	年効果額		
11-41- P2	新		更		経費	面積	
作物名	現況 (事業なかりせば)	計画 (事業ありせば)	事業なかりせば 営農経費	事業ありせば 営農経費	(1)-(2) +		
	1	2	3	4	(3-4)	6	7=5×6
	円	円	H	円	円	ha	千円
水稲(飼料用米、加工用米含む) (排水改良) (水管理作業)	_	_	512, 048	529, 225	△ 17, 177	4, 635	△ 79,615
水稲(飼料用米、加工用米含む) (排水改良) (乾田→湿田)	_		750, 980	529, 225	221, 755	4, 385	972, 396
水稲(飼料用米、加工用米含む) (排水改良) (乾田→半湿田)	_	1	615, 337	529, 225	86, 112	28	2, 411
大豆 (排水改良)(乾田→湿田)	_		788, 990	610, 714	178, 276	710	126, 576
大豆 (排水改良)(乾田→半湿田)	_		697, 292	610, 714	86, 578	5	433
そば (排水改良) (乾田→湿田)	_		266, 333	211, 298	55, 035	175	9, 631
そば (排水改良) (乾田→半湿田)	_		239, 227	211, 298	27, 929	1	28
かぶ (排水改良) (水管理作業)	_		1, 447, 515	1, 491, 815	△ 44, 300	34	△ 1,506
かぶ (排水改良)(乾田→湿田)	_	_	1, 604, 339	1, 491, 815	112, 524	32	3, 601
ねぎ (排水改良)(乾田→湿田)	_	_	4, 253, 933	3, 924, 516	329, 417	22	7, 247
えだまめ (排水改良) (乾田→湿田)	-	_	3, 021, 775	2, 284, 772	737, 003	34	25, 058
トルコギキョウ (排水改良)(乾田→湿田)	_	_	13, 750, 699	13, 732, 192	18, 507	28	518
水田計							1, 066, 778
新設							
更新							1, 066, 778
合計							1, 066, 778